

「鋼構造シンポジウム 2022」アカデミーセッション

第 30 回 鋼構造年次論文報告集 講演会

発表論文・報告アブストラクト募集のご案内

1. 「鋼構造シンポジウム 2022」開催要項

～鋼構造年次論文報告集の刊行及びシンポジウムの開催～

一般社団法人日本鋼構造協会では、1993 年以來、毎年1回「鋼構造年次論文報告集」を刊行し、併せて鋼構造シンポジウム・アカデミーセッションとして掲載論文・報告の講演会を開催しています。また当日は“会員かつ 35 歳以下”の若手を対象として、プレゼンテーション方法等を審査し表彰する「優秀発表表彰」も行っています。

2022 年度も「鋼構造年次論文報告集(第 30 巻)」を刊行し、講演会を開催致します。以下の要領で募集致しますので、幅広い分野からの投稿をお待ちしております。

開催日: 2022 年 11 月 17 日(木)～11 日 18 日(金)(予定)

主催: 日本鋼構造協会

協賛: 土木学会・日本建築学会・日本材料学会・日本船舶海洋工学会(予定)

日本風工学会、日本地震工学会・日本鉄鋼協会・溶接学会・日本鉄鋼連盟

場所: 未定(オンライン開催もしくは会場(TFT ビル)開催)※開催方法は、7 月頃決定予定です。

2. 投稿申込概要および日程

■投稿申込概要

申込資格: 不問

申込件数: 1 名につき 1 題

著者: 会員・非会員問わず、どなたでも可(ただし、著者は 5 名まで)

申込期間: 2022 年 4 月 1 日(金)～4 月 22 日(金) 17:00

申込方法: 電子投稿システム(Scholar One Manuscripts: スカラーワンマニユスクリプト)を使用する予定です。なお、投稿システムのリンクは、申込期間になりましたら、下記 JSSC ホームページに掲載いたします。

URL: <http://www.jssc.or.jp/thesis/index02.html>

※論文・報告が掲載された場合、投稿者ご本人に鋼構造シンポジウム／アカデミーセッションにて講演を行っていただきます。

※**優秀発表表彰の審査対象条件は、従来の 35 歳以下に加え、“会員であること”が必須**です。非会員の方で優秀発表表彰の審査を希望される場合、入会申込をして下さい。

入会につきましては、JSSC ホームページの入会案内(<http://www.jssc.or.jp/jssc/index03.html>)をご参照下さい。

※発表者には「登録料」をお支払いいただきます(年次論文報告集 CD-ROM 代含)。

※登録料の支払時期は、論文掲載確定後(11 月頃)を予定しております。

※応募されたアブストラクトは、『鋼構造論文集』の公募論文として推薦される場合があります。

■登録料

登録料は会員種別により異なり、それぞれ次の通りです。(税込)

- 第2種(個人)正会員および法人会員所属の個人: 7,300円
- 準会員: 6,300円
- 学生(準会員): 3,200円
- 非会員: 12,400円
- 学生(非会員): 5,700円

※学生の方が会員になる場合の会費は、年間2,500円(入会金無料)です。協会発行の技術情報誌「JSSC」の年間無料購読、書籍の会員割引適用等、各種優遇措置がありますので、この機会に是非入会をご検討ください。

※シンポジウムに関連した会員優遇措置を受けるには、9月末までに入会申し込みをして下さい。(以降の申込では、会員扱いとなりませんのでご注意ください)

■日程

- 1) アブストラクト投稿受付期間

2022年4月1日(金)～4月22日(金) 17:00

※電子投稿システムでの投稿となります。

- 2) 採否通知と原稿執筆依頼.....7月初旬～中旬(予定)
- 3) 完成原稿提出締切日.....8月初旬(予定)
- 4) 最終採択通知と発表依頼.....9月中旬(予定)
- 5) シンポジウム開催.....11月17日(木)～18日(金)

3. 投稿対象および投稿部門

■投稿対象

- 1) 対象は、鋼構造とその複合構造に関する独創的な研究や技術開発、創意工夫に満ちた設計・施工・維持管理に関する事例及びケーススタディー等の論文・報告とし、新規性・実用性に富み、技術的・工学的に価値のあるものとします。
- 2) 工事報告など、従来の学術論文の形式になじみにくかったものも対象としており、実務者の方々の投稿を歓迎します。
- 3) ひとつの論文・報告はそれ自身で完結した体裁を整えているものとし、宣伝に偏した内容は避けてください。
- 4) 投稿論文・報告は審査付きであり、原則として未発表の内容に限りますが、下記の条件に該当するものは、既発表の内容であっても応募可能と致します。
 - 大会学術講演会、支部研究発表会等で発表したもの
 - 国際学会、コロキウム等で講演するため、その概要または講演論文として発表したもの
 - 大学の紀要、研究機関の研究所報及び会社技報などに発表したもの
 - 国、自治体、業界、団体からの委託研究の成果報告書
 - 既発表の論文・報告を統合・再編成し、新たな知見を加えてレベルアップしたもの

■ 投稿部門

投稿部門は次の 21 部門とし、投稿申込時に希望部門を選択するものとします。

- 【1】材料 【2】耐荷力 【3】骨組 【4】接合部・継手 【5】部材 【6】床板
- 【7】橋梁一般・構造景観 【8】吊構造 【9】合成・複合構造 【10】構造解析 【11】設計
- 【12】施工 【13】製作 【14】振動・制振・耐震 【15】疲労・破壊 【16】腐食・防食
- 【17】補修・補強 【18】維持管理・マネジメント 【19】環境・LCA
- 【20】計測・検査・モニタリング 【21】その他

4. 投稿要領

下記 URL にリンクされる電子投稿システム(Scholar One Manuscripts: スカラーワンマニユスクリプト)にてアカウントを作成した上で、画面の指示に従い投稿を行ってください。

電子投稿システム URL: <http://www.jssc.or.jp/thesis/index02.html>

新規投稿者登録はログイン画面でユーザーID、パスワードを入力することで作成できます。

※投稿者＝発表者となりますので、必ず発表者の方がアカウント作成および投稿を行って下さい。
なおアブストラクト登録後、発表者の変更はできませんのでご注意ください。

■ 新規投稿者登録時の入力項目(下線部: 必須項目)

上記 URL の「アカウントを作成」リンクをクリックし、画面の指示に従い必須項目を入力し、アカウントを作成してください。

必須項目は以下の通りです。

- 1) 氏名
- 2) メールアドレス(ユーザーID)
- 3) 所属学校、企業名
- 4) パスワード
- 5) 分野(自身のご専門分野 建築、土木、その他)
- 6) 部門(自身のご専門部門 1つ以上)

■ アブストラクト投稿の流れ

システムにログイン後、著者ダッシュボード(画面上部、協会ロゴの下部)の「新規投稿の開始」より投稿画面にお進みください。

画面の指示に従い、所定の事項を入力の上、別に作成いただくアブストラクト(A4、2 ページ、PDF)をアップロードしてください。

「論文・報告要旨(アブストラクト)」(2 ページ)は論文情報登録ページにて、PDF データをアップロードしていただきます。

必要となる情報は次の通りです。

- 投稿者情報確認(前項「新規投稿者登録時の入力項目」で、入力した内容の確認)
※投稿者＝発表者となりますので、修正があればこの画面で修正を行ってください。
- 共同著者情報入力(姓名、所属先機関名、学位、メールアドレス)
- 論文情報(全て必須項目)
 - 1) 希望投稿部門(投稿部門【1】～【21】)
 - 2) 分野の区分(①土木, ②建築, ③その他(土木・建築共通含む))
 - 3) カテゴリー(論文 or 報告)

※「論文」は学術的観点から、「報告」は技術的観点から審査されます。）

- 4) キーワード(3～5個)
- 5) 論文・報告題目(和文題目もしくは英文題目)
※和文題目は30文字程度、英文題目は20 words程度とし、副題(その1、その2等)や商業宣伝となる用語、等の使用は認められません。
- 6) 論文・報告原稿 使用言語(和文もしくは英文)
- 7) 要旨(200文字)
- 8) 「a)新規性」、「b)実用性」のどちらか一方(両方でも可)を400文字以内で必ず記載してください。(英文の場合は200～300words程度)
- 9) 希望査読者(査読を希望する方を記載して下さい。ただし必ずしも希望の方に査読依頼がなされるとは限りません。ご了承ください)

※入力内容および「論文・報告要旨」データ内に不適切、あるいは不明確な記述があった場合は、掲載可否の審査対象外となることがあります。

※入力された投稿者・共同著者情報は、編集業務内で利用させていただく場合がございます。

■「論文・報告要旨(アブストラクト)」(PDF,2ページ)の作成要領

論文・報告要旨は2ページ(A4縦置、横書、それ以外の書式は自由)で、

- ・タイトル
- ・著者名(著者所属)[発表者の氏名の前に○を付ける]

を最初の上部に記載してください。

引き続き、論文・報告内容の概要として、

- (i) 目的
- (ii) 方法
- (iii) 結果と考察
- (iv) 結論

の4項目に関わる内容を、参考図等を加え、具体的に分かりやすく記述してください。

■「論文・報告要旨」(2ページ)のデータ形式

- 1) 原稿は、Adobe Acrobat 4.0以上を用いて変換されたPDFファイルを、1ファイルとして提出してください。ファイルサイズは2MB以内としてください。これを超えた原稿は受け付けられません。また、投稿するファイルはPDF形式とし、圧縮ツールは使用しないでください。
- 2) PDF化にあたっての解像度の設定についての制約は設けません。図・表・写真等を原稿に張り付けた状態で上記のファイルサイズ以内に納まるよう、執筆者で自由に設定してください。ただし、画像データ(図・写真)を含む場合、PDFファイルに変換することにより、出力品質が劣化することがありますので、テキストおよび白黒ビットマップ画像の解像度は600～1200dpi程度、カラーおよびグレースケールのビットマップ画像(写真等)の解像度は300dpi程度が目安となります。
- 3) 本文の文字は黒色としますが、図・表・写真等については色の制限はありません。
- 4) PDFファイルにファイルロック等のセキュリティやパスワードの設定を絶対に行わないでください。また、何らかのトラブルで原稿(PDFファイル変換前の原稿)を別途提出していただくこともありますので、原稿ファイルは削除しないで必ず保管しておいてください。

※PDFファイル閲覧専用のAcrobat ReaderではPDFファイルに変換することはできません。

※PDFファイルへの変換の際にエラー等が発生した場合は、アドビシステムズ株式会社のウェブサイト(<http://www.adobe.com/jp/>)をご参照ください。

■書式設定

原稿で使用するフォントは以下に限定してください。

○ S:Windows Macintosh

日本語:MS 明朝または MS ゴシック、細明朝、中ゴシック、平成明朝、平成角ゴシック

英 字:Symbol、Times、Times New Roman

※注意事項

和文フォントに関しては、パソコンの機種等により文字化けが発生する可能性がありますので、漢字コードは第二水準以内の文字をお使いください。特に Windows をお使いの場合は、人名辞書にはあるが第二水準に無いような文字(、など)がありますので注意してください。機種／フォントに依存する特殊文字(①、②、Ⅰ、Ⅱ、㎡等)、半角カタカナおよび半角「、」。「」、HG 系フォント、修飾文字は機種によっては文字化けしますので、別の文字に置き換えてください。これらの制約は異種プラットフォームにおけるファイルの互換性を確保するために必要となります。

5. 各種お問い合わせ先

【投稿・修正の内容およびシンポジウム等についてのお問い合わせ】

一般社団法人日本鋼構造協会 事務局(年次論文報告集担当)

TEL 03-3516-2151

電話受付時間:平日 9 時～12 時、13 時～17 時まで

E-mail: koukouzou-nenji@jssc.or.jp

【オンライン投稿・査読システムの操作についての問い合わせ: ScholarOne サポートセンター】

株式会社杏林舎 (ScholarOne Manuscripts の国内代理店)

TEL 03-3910-4517

電話受付時間:平日 9 時～12 時、13 時～17 時まで

E-mail: s1-support@kyorin.co.jp